

平成24年(2012年)8月1日発行

私たちが第1期修了生です!!



日本技術者教育認定制度とは・・・

大学などの高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し、認定する専門認定制度。認定プログラムを修了した学生は「技術士」の第一次試験が免除されるとともに、卒業時に「修習技術者」として認められ、国家資格「技術士補」となる資格を有する。その後最低4年の実務経験を経た後、技術士の第二次試験に合格すれば、国家資格「技術士」となるための有資格者になる。

機械工学科の実践機械工学プログラムが
日本技術者教育認定機構(JABEE)より認定

修了者は技術士一次試験免除。認定期間は平成23年4月から6年間

機械工学科の「実践機械工学プログラム」が昨年11月の現地審査を経て、一般社団法人日本技術者教育認定機構(JABEE)から認定を受けた。認定期間は平成23年4月から6年間。この認定は、同プログラムが「国際的に通用する技術者を養成するための高い技術教育プログラムである」と認められたことを意味している。

認定証授与式は5月21日(月)、建業会館ホール(東京都港区)で開催され、JABEE対応責任者である波多野純学長に認定証が授与された。

式には平成23年度に新規認定を受けた6教育機関の15プログラムのうち、11プログラムの関係者が出席。式後には認定校を代表して、機械工学科の神雅彦教授(プログラム副主任)が認定の対象となった実践機械工学プログラムの紹介を行った。

機械工学科では、本プログラムを平成20年度にスタートさせた。卒業生の資質を世界レベルで保証する教育プログラムとして、教育目標を明確に掲げ、学習内容、学習時間、成績評価基準等を厳密に定めたカリキュラムによる教育を行っている。卒業生の多くが製造業における設計・生産技術部門のプロジェクトリーダーとして活躍することを

認定証を授与される波多野学長(右)

JABEE認定要件には継続的改善が含まれている。今後、本学の実工学教育の特長をさらに活かしたプログラムへと進化させることを計画している。

7月22日(日)、アルカディア市ヶ谷(私学会館)において学園創立105周年記念祝賀会が盛大に挙行された。

本学園は平成19年に創立100周年を盛大に祝賀した祝賀会を開催することとなった。

祝賀会には、大川陽康理事長、波多野純学長、吉田忠雄駒場中学・高校校長をはじめ、法人役員、学園教職員のほか、大学後援会、宮



大川理事長の挨拶

学園創立105周年
記念祝賀会を盛大に挙行

て以来、これまで大学と駒場中学・高校を会場として毎年6月29日の学園創立記念日に「学園協議会」を実施し、各学校の近況報告や歴史を振り返るなど親交や結束を深めてきたが、このたび、105周年の節目の年を迎え、学園関係者を一堂に集した祝賀会を開催することとなった。

祝賀会には、大川陽康理事長、波多野純学長、吉田忠雄駒場中学・高校校長をはじめ、法人役員、学園教職員のほか、大学後援会、宮

第8回本学卒業現職教員の集い開催
全国小・中・高の現職職員が約60名参加

6月30日(土)午後2時より、本学LCセンターにおいて第8回本学卒業現職教員の集いが開催された。

現職教員の参加者は、全国の小学校・中学校・高等学校等に勤務する約60名、大学からは大川陽康理事長、柳澤章副理事長、波多野純学長をはじめ教職員約50名、また、教職希望の学生約50名が参加した。

当日のプログラムは、左記の通りである。

- ①研究協議会
「奮闘する新任教師」
講師 鶴田哲志氏(東京都足立区立栗島中学校教諭)
- ②挨拶・講演
・波多野純 波多野純
・入試室長 丹澤祥晃
・文部科学省 持田雄一氏
- ③グループ討議
④懇親会

「教師の資質について」講師 平沼栄氏(茨城県立玉造工業高校校長)

研究協議会は、卒業生の日頃の教育実践に裏打ちされた素晴らしい内容で、多くの教員に感銘をあたえた。グループ討議は、生徒指導、大学入試、中高連携、技術教育、教員研修の5グループに分かれ、大学教員と現職教員の交流を深めた。懇親会では、卒業生と大



平沼氏の講演

6/2(土) オープンキャンパス開催報告

6月2日(土)、オープンキャンパスが開催された。当日は、大勢の高校生や保護者の方が参加。参加者の希望に合わせて選べる体験授業や個別進路相談会、保護者説明会、女子向け特別プログラムなどが好評だった。



オープンキャンパス
NIT夏のオープンキャンパス

8/4(土)・5(日)・25(土) 9/9(日)
無料バスを運行! 詳細は本学WEBサイトで確認ください。

オープンキャンパス・進学相談会
10/20(土) 11/24(土)
各開催日とも11時開始(ランチ付き)

詳細はホームページでご確認ください。
事前に申し込まれた方にプレゼントを差し上げます。

お問い合わせ・お申込み先: 日本工業大学 教務部入試室
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp
URL: www.nit.ac.jp 携帯URL: www.nit.ac.jp/k

今年度開催のコンテスト、イベント

第4回3-D CADプロダクトデザインコンテスト

エントリー締切 8/18 結果発表表彰式 10/14

3D-CADを駆使し、斬新かつ独創的なアイデアをコンピュータ上で表現してください。対象は高校生で、テーマと自由デザインの2部門。優秀作品は実際に3Dオブジェに加工して展示します。

作品送付先/お問い合わせ先
3D-CADプロダクトデザインコンテスト事務局 長坂保美
TEL: 0480-33-7619 E-mail: nagasaka@nit.ac.jp
http://leo.nit.ac.jp/~nagasaka/pd-contest/index.html

第6回 マイクロロボコン高校生大会

申込締切 8/25 開催日 9/8

わずか1インチ(2.54cm)角の大きさの「マイクロラインレースロボット」を5mm幅の白線によって構成された周回コースを自立的に走行させ、1周の周回走行時間(ラップタイム)を競います。

お問い合わせ先
工業教育研究所 原田 昭
TEL: 0480-33-7512 E-mail: akih@nit.ac.jp
http://ise.nit.ac.jp/mrc.html

第26回 建築設計競技

提出期限 8/27 入賞発表 9月上旬

高校生を対象とした建築設計の腕試しの場として、また本学建築学科の設計教育活動の一環として、毎年開催しています。今回の課題は「最小限住宅」です。優秀作品はLCセンターで展示します。

作品提出先/お問い合わせ先
建築設計競技委員会
TEL: 0480-33-7681 E-mail: kenchiku-compe@nit.ac.jp
http://www3.nit.ac.jp/kenchiku/compe.html

第16回 スターリングテクノロジー

申込締切 9/12 開催日 11/10

人間乗車、RC、宙返り耐久、ミニ速度、マイクロ、クレーの6クラスで、自作スターリングサイクル機器の性能とアイデアを競う競技会です。小・中・高・大学生から一般の方まで参加できます。

申込先/お問い合わせ先
スターリングテクノロジー技術会事務局 運営委員長 松尾政弘
TEL&FAX: 048-858-3098 E-mail: stirling@jcom.home.ne.jp
http://members.jcom.home.ne.jp/stirling/

被災地の高校へ中古パソコン提供 最終報告 7高校に122台を無償提供

昨年10月に、東日本大震災の被災地の高校に中古パソコンの無償提供を開始し、この5月に予定していた122台の設置が終了した。これらの中古パソコンは、クボタシステム開発などの企業から譲り受けたもので、希望する高校に無償で発送した。

この支援は、機械工学科の長坂保美教授が、本学が主催する高校生対象の「3DCADプロダクトデザインコンテスト」の参加校が被災し学習環境を失ったことを知り、手助けをできないかと協力企業に呼びかけたことがきっかけである。学生ボランティアが、パソコンに3次元CADをインストールし、

高校名	台数	設置完了日
釜石商工高校	20	2011年10月29日
大船渡東高校	10	2011年11月 5日
郡山北工業高校	25	2011年11月26日
白河実業高校	12	2011年11月26日
福島工業高校	20	2011年12月17日
気仙沼海洋高校	15	2012年 4月21日
小高工業高校	20	2012年 5月19日

あった。仮設実習スペースの準備が遅れ、なかなか設置に至らないケースもあったが、ようやく予定数を完了した。高校では、早速、実習で使うことができる、オリジナルの動画マニュアルが使いやすいと、大変に喜ばれた。

今夏の節電への取り組み

経済産業省では、東日本全体として、夏季想定需要(条件:猛暑・節電あり)の場合には最低限必要となる供給準備率(3%)は確保できる見通しであることから、東京電力管内では、数値目標を伴わない節電の要請が出されている。

この背景をもとに、本学では、昨年実施した緊急避難的な活動計画を見直し、埼玉県内の「地球温暖化対策推進条例」を考慮しつつ、最適な教育研究活動の環境維持が出来るよう、以下の節電活動に取り組んでいる。

- 一、照明削減の継続実施(節電率▲30%)
 - 二、空調機の輪番5分間停止(30分間の内5分停止) 遠隔操作で停止・使用者が手動起動(ピーク電力▲10%)
 - 三、夜間の外気による冷却(主に教室)
 - 四、クルヒスの励行
- この活動期間は、7月2日(月)～9月29日(土)の9時から17時を対象としており、学内にはさらなる協力を願っている。

産業界期待の高度金型人材育成事業始まる

専門職大学院だより

本年度の「高度金型人材育成事業」が始まっている。本事業は、高度金型設計のための基礎的技術力の強化を目指す初級者コースである「金型基礎ユニット(通称U1)コース」及び「金型実践ユニット(通称U2)コース」と、高度金型のための経営マネジメント力の強化を目指す中級者コースである「金型マネジメントユニット(通称U3)コース」から成り立っている。本講座の受講対象者は、U1は金型関連企業に就職して間もない新入社員であり、U2は金型企業で2～3年ほど実践を積んだ経験者がその対象である。U3は、主として

次世代を担う若手金型関連企業経営者を受講者の対象とした教育訓練が行われている。この内、新人対象のU1では「金型産業の重要性」や「金型ビジネスとは何か」等の講義を受講し、金型への理解を深めるほか、金型製造技術の「精神」ともいえる「ヤスリがけ」の実地訓練も含まれている。

又、それぞれのコース修了者には(社)日本金型工業会からも正式な講座修了証が与えられる産学連携事業になっている。本事業はCAD講習やヤスリがけ講習は宮代キャンパス、一般的な座学は神田キャンパスで行われており、日本工業大学が一体になって行う事業である。本講座は経済産業省の支援を受け、平成20年度から3年間の準備期間を経て、昨年度から本格活動が始まった事業である。本事業が開催されることになった背景には、今まで日本のモノづくりを支えてきた世界一とも言われる日本の金型産業の危機が表面化したことにある。世界のグローバル経済の波を受け、今、日本の国内モノづくり産業は海外展開を積極化させ、セットメーカーや部品メーカーは海外への製造移転を行っている。

しかしながら、日本の金型産業は全企業の9割以上が従業員20名以下の零細企業であるため、大手企業のように簡単に海外移転する事は出来ない。大学院技術経営研究科教授・横田悦二郎

本学で先端技術研究の取り組みを 社会人大学院生 募集 (日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科

博士前期課程 *環境共生システム学専攻 *機械システム工学専攻
*電子情報メディア工学専攻 *建築デザイン学専攻

博士後期課程 *機械工学専攻 *電気工学専攻 *建築学専攻
*システム工学専攻 *情報工学専攻

■平成25年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成24年9月21日～9月28日	10月4日	10月12日	平成25年1月23日
二次募集	平成25年2月5日～2月12日	2月22日	3月4日	平成25年3月11日

お問合せ先: 教務部教務課 大学院入試係
TEL 0480-33-7507 URL <http://www.nit.ac.jp>

ISO定期サーベイランス審査報告

ISO14001 第4次の2年次定期サーベイランスが5月17日(木)・18日(金)の2日間、認証機関JACOにより行われた。今年度の審査は、昨年度に観察指導を受けたキャンパス排水水質の改善、また、法規制遵守状況、さらには目的目標に対する進捗状況等を中心に行われた。審査結果は、概ねパフォーマンス向上との評価を得た。反面、グリーン調達推進における目標設定と監視測定に一部不整合がある点や、特定業務従事者(教員・学生等)に対する特定業務教育後の力量評価の更なる改善を求められた。



電機電子工学科の審査
総合的には6月20日(水)付で「認証継続」の審査結果通知を得ている。

平成25年度入試概要

各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。

入試種別	併願の可否	内 容	日 程
特別奨学生入試	第1期 単願	奨学生には、1年次の学費の半額(¥671,500)を免除 第1期 書類審査および面接による選考 第2期 筆記試験、調査書および面接による選考 検定料割引制度あり	第1期 申込期間 8/24(金)～9/4(火) 面接日と面接会場 9/ 8(土) 本学 内定日 9/11(火) 出願期間 9/20(木)～10/ 3(水) 試験日と試験会場 合格発表日 10/13(土) 入学手続 10/23(火) 締切日 1/16(水)
	第2期 併願可		第2期 申込期間 9/ 1(土)～9/11(火) 面接日と面接会場 9/15(土) 本学 内定日 9/19(水) 出願期間 9/20(木)～10/ 3(水) 合格発表日 10/13(土) 入学手続 12/20(木) 締切日 1/16(水)
専門高校入試 (S 工業科)	併願可	書類審査および面接による選考 工業科の生徒を対象 国公立大学等との併願に最適です	第1期 申込期間 9/ 1(土)～9/11(火) 面接日と面接会場 9/15(土) 本学 内定日 9/19(水) 出願期間 9/20(木)～10/ 3(水) 合格発表日 10/13(土) 入学手続 12/20(木) 締切日 1/16(水)
専門高校入試 (B 工業科)	併願可	書類審査および面接による選考 工業科の生徒を対象 公募制 ※本学会場以外(地方会場)での面接を希望する方は、11/9(金)までに必着するよう、出願してください。	第1期 出願期間* 10/18(木)～11/13(火)* 面接日と面接会場 11/15(木) 仙台*・水戸*・高崎*・東京* 11/16(金) 宇都宮*・新潟*・長野* 11/17(土) 本学・金沢* 合格発表日 11/24(土) 入学手続 12/ 3(月) 締切日 1/16(水)
AO入試	併願可	AOエントリー入試 面接および書類審査(提出課題と調査書等)による選考 AOコーディネータ入試 書類審査および面接による選考	第1期 エントリー入試のエントリー期間 7/ 8(日) 8/17(金) 10/10(水) 11/22(木) 1/11(金) 1/11(金) 1/11(金) ～8/ 7(火) ～9/11(火) ～11/20(火) ～12/11(火) ～3/ 4(月)
一般推薦入試 (公募制)	併願可	書類審査および面接による選考 専門高校(工業科)以外の生徒を対象 公募制 ※本学会場以外(地方会場)での面接を希望する方は、11/9(金)までに必着するよう、出願してください。	第1期 出願期間* 11/ 1(木)～11/13(火) 面接日と面接会場 11/15(木) 仙台*・水戸*・高崎*・東京* 11/16(金) 宇都宮*・新潟*・長野* 11/17(土) 本学・金沢* 合格発表日 11/24(土) 入学手続 12/ 3(月) 締切日 1/16(水)
一般入試	併願可	筆記試験および調査書による選考 検定料割引制度あり	第1期 出願期間 1/ 7(月)～1/25(金) 試験日 1/31(木) 本学・郡山・水戸・高崎 2/ 1(金) 本学・金沢・静岡 2/ 2(土) 本学・仙台・東京・新横浜 合格発表日 2/ 7(木) 2/19(火) 入学手続締切日 3/ 1(金)
センター利用入試	併願可	平成25年度大学入試センター試験で、本学が指定する教科・科目の成績および調査書による選考 検定料割引制度あり	センター利用入試A センター利用入試B センター利用入試C 出願期間 1/ 7(月)～1/28(月) 2/ 1(金)～2/14(木) 2/18(月)～3/ 6(水) センター試験実施日 1/19(土)・20(日) ※本学での個別学力試験等は実施いたしません 合格発表日 2/ 7(木) 2/23(火) 3/16(土) 入学手続締切日 2/19(火) 3/ 1(金) 3/22(金)

・専門高校入試(A 工業科) および一般推薦入試(指定校)については、2013受験ガイドおよび募集要項をご確認ください。
・お問い合わせ先: 入試室 Tel 0480-33-7676

学生自治会主催行事

毎年恒例となった学生自治会が主催するボウリング大会が7月7日(土)に開催された。特に人気の高い行事の一つで、今回も募集をかけて間もなく満員御礼、受付終了となった。当日は、15時からヒックポウル杉戸にて1チーム4名でゲームを行った。成績上位者ならびにチームには、主催者である中央執行委員

毎年の恒例となった学生自治会が主催するボウリング大会が7月7日(土)に開催された。特に人気の高い行事の一つで、今回も募集をかけて間もなく満員御礼、受付終了となった。当日は、15時からヒックポウル杉戸にて1チーム4名でゲームを行った。成績上位者ならびにチームには、主催者である中央執行委員



夏祭りには様々な模擬店が出店

パンドライブなど様々な企画が行われる。フィナーレは、美しい様々な花火が夏の夜空を彩り夏祭りは締めくくられる。

学生たちは、春学期定期末試験終了後から9月20日(木)までの約2ヶ月間の間は、夏合宿を行うクラブ団体や委員会も多い。体育会本部や文化団体連合会本部では、主に1年生を対象に所属会員としての心構えや、他のクラブとの交流を図ることを目的として実施する予定である。

「レーザー」で準優勝

機械工学科のプロダクトデザインコースで制作した作品「蝶とトンボのオブジェ」(写真)が5月28日(月)、企業が主催する「レーザー」において準優勝に輝いた。優勝作品とは1票差の僅差であった。

この作品は、CO2レーザー加工機によって透明アクリル板に蝶とトンボを描いたもので、後ろから光を当てると加工部分が美しく光り、夜間などに壁面に設置するオブジェとなる。全体の寸法は縦1.8×横1.2m。レーザー加工技術



都内の代表的博物館とのパートナーシップに入会

本学は5/6月にかけ東京都歴史文化財団(※)、国立科学博物館、そして東京国立博物館のパートナーシップに入会した。会員校である本学の学生は、これらの団体が管理運営する博物館・美術館で、入場口で学生証を提示すれば、常設展の無料入場などの特典が受けられる。

パートナーシップへの加盟は、本学の学生に工学を学ぶ基礎となる科学・建築・歴史文化などへの興味を持たせることを目的に行ったものである。とりわけ本年度から始まった「特別研修日」で有効に活用してもらうことを意識している。

ちなみに、江戸東京博物館では、先月まで開館20周年特別展「日本橋」描か



※東京都歴史文化財団
東京都が所有する博物館・美術館などを管理運営する組織。江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京都庭園美術館、東京都写真美術館、東京都現代美術館、東京都美術館などを統括。

術を駆使して羽の繊細な美しさを表現し、大胆で印象に残ることを目指した。特に、翅(はね)の模様や羽脈の表現については、薄暗い部屋で最も美しく見える光源の配置や彫刻の深さ等、作を指導した細田彰一准教授は「この作品では、いかに人の心に刺さる表現にするかを極めた。今後も様々な技術を使い、人々の印象に残り、感動を生み出す活動を続けていきたい」とコメントしている。

精密工学会のベストプレゼンテーション賞

機械工学専攻博士前期課程2年(受賞時/本年3月修了)で中里研究室に所属していた若田拓也君が昨年9月22日(木)、精密工学会のベストプレゼンテーション賞を受賞した。論文題目は「SMAを用いたヒューマンノイドの小型軽量化」非言語コミュニケーション装置への応用。

SMAとは「形状記憶合金」を意味する。ヒューマンノイドロボットに使われる駆動源のほとんどは電



気モーターが油圧シリンダに限られているため、より人間的な動作をさせるためには、従来にはない小型化、軽量化が必要になる。SMAは小型軽量ながら大出力が発生でき、最適な駆動源の一つとして期待されている。本研究では、本学所有のヒューマンノイドロボット「ニコット」にSMAを用いた駆動装置を搭載し、身振りや手ぶりなどの非言語コミュニケーションを行わせた。これは世界初の試みと抱負を述べている。

今年度の就職支援状況

父母会への就職ガイダンス

平成20年秋のリーマンショック以降、急激な円高で日本企業(特に製造業)は大きな打撃を受けた。加えて、新興国の経済成長の鈍化、欧州の金融不安の深刻化による世界経済の停滞が懸念され、我が国の雇用環境への深刻な影響波及が危惧されている。

平成24年度卒業・修了生の就職活動がスタートした。非製造業の採用意欲は高い一方で製造業は慎重な態度を崩していない。今年度は企業の採用広報開始が例年より2カ月遅れの12月となった。就職活動期間の短縮により、しっかりと就職意識を持って就職活動をした学生とそうでない学生とではっきり明暗が分かれています。「学内合同企業説明会」を昨年12月より開催、大手企業から中堅・中小企業を招いて実施し、



4月に実施された学内合同企業説明会

平成24年度 出前授業プログラム

今年度は、4月に出席授業プログラムを全国の工業高等学校や高大連携校等約780校に配布するとともに、本学のホームページにも掲載し、案内を行った。なお、出前授業の実施は4月に日本工業大学駒場高等学校から始まり、すでに29回の授業が予定されている。平成23年度の実施回数は、71回、受講者数は4198名であった。

また、研究室インターシップも年々申し込みが増える傾向にある。今年6年目となるが、生徒からは「高校よりレベルの高い実験をした」、高等学校側からは「生徒の進路決定に有効である」との評判も伝わってきている。引き続き本学の先生方等のご協力を得ながら一層の充実を目指し、高等学校の生徒・先生方の期待に沿えるよう努めていく。(工業教育研究所)

平成24年6月18日現在

実施日	コマ数	受講人数	実施校	担当教員	題目		
1	4/24(火)	2	75	日本工業大学駒場高等学校	平栗 健史	E8	ワイヤレス通信がわかる授業
2	5/26(土)	2	40	群馬県立藤岡工業高等学校	石川 豊	E1	のぞいてみよう「ナノ」の世界
3	5/26(土)	2	40	群馬県立藤岡工業高等学校	竹内 貞雄	M5	21世紀は炭素の時代(電気釜からボーイング787まで)
4	6/1(金)	2	13	茨城県立江戸崎総合高等学校	中里 裕一	S6	挑戦!次世代ロボット
5	6/8(金)	1	18	栃木県立足利南高等学校(大学見学時の模擬授業)	服部 邦彦	H9	身の回りに潜む自然のひみつ
6	6/13(水)	2	40	栃木県立真岡工業高等学校	中里 裕一	S6	挑戦!次世代ロボット
7	6/21(木)	3	41	栃木県立宇都宮工業高等学校	長坂 保美	M7	3次元CADを学ぶ
8	6/22(金)	2	79	栃木県立小山高等学校	椋田 實	C6	数学的でない方法で最適解を求める(遺伝的アルゴリズム)
9	6/27(水)	2	82	宇都宮白楊高等学校	中里 裕一	S6	挑戦!次世代ロボット
10	6/28(木)	1	40	東京都立浅草高等学校	丹澤 祥晃	P7	風力発電で自然エネルギーを利用しよう
11	7/6(金)	1	29	東京都立荒川工業高等学校	中里 裕一	S6	挑戦!次世代ロボット
12	7/9(月)	2	40	群馬県立伊勢崎工業高等学校	佐藤 茂夫	P2	「もったいない」精神で毎日の生活をみなおす
13	7/11(水)	2	40	山梨県立巨摩高等学校	佐藤 杉弥	H6	平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
14	7/11(水)	2	20	栃木県立佐野松桜高等学校	梅崎 栄作	M2	生物に学ぶ新しいものづくり
15	7/12(木)	2	80	群馬県立安中総合学園高等学校	丹治 明	M16	「儀右衛門」・「エジソン」からモビルスーツを目指して
16	7/13(金)	2	17	東京都立杉並工業高等学校	増本 憲泰	M17	ロボット技術の使い方
17	7/18(水)	2	40	栃木県立栃木工業高等学校	中里 裕一	S6	挑戦!次世代ロボット
18	7/18(水)	3	80	群馬県立伊勢崎工業高等学校	佐藤 杉弥	H6	平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
19	7/19(木)	2	54	東京都立多摩工業高等学校	丹澤 祥晃	P7	風力発電で自然エネルギーを利用しよう
20	7/30(月)	1	30	茨城県立勝田工業高等学校	服部 邦彦	H9	身の回りに潜む自然のひみつ
21	7/30(月)	1	30	茨城県立勝田工業高等学校	西村 誠介	E13	放電のふしぎ
22	7/30(月)	1	30	茨城県立勝田工業高等学校	松田 洋	C17	コンピュータグラフィックスの世界
23	9/2(日)	1	30	日本工業大学駒場高等学校	中里 裕一	S6	挑戦!次世代ロボット
24	10/4(木)	2	40	埼玉県立浦和工業高等学校	佐藤 杉弥	H6	平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
25	10/17(水)	1	41	栃木県立宇都宮工業高等学校	黒津 高行	L3	とびきりの建築空間視察の旅
26	11/7(水)	2	13	栃木県立宇都宮工業高等学校	岡崎 昭仁	M20	フォーミュラー工房でのクルマづくり
27	11/7(水)	1	41	栃木県立宇都宮工業高等学校	成田 健一	A3	環境に優しい住宅の設計手法・風通しの極意とお日様を見方にする方法教えます!
28	12/10(月)	2	39	栃木県立宇都宮工業高等学校	上野 貴博	E7	小さな働き者ののはなし(モーターのはなし)
29	12/11(火)	2	40	栃木県立宇都宮工業高等学校	北久保 茂	C11	本人認証~人それぞれが持っているもの
30	1/22(火)	2	41	静岡県立島田工業高等学校	神野 健哉	E4	少しの工夫で効率を上げる

第32回教育改革シンポジウム「事務局の各部署が教員の皆さんにせひ理解してほしいこと」

第32回教育改革シンポジウムが6月14日(木)に開催された。今回の企画は、平成23年度私立大学等経常費補助金特別補助「未来経営戦略推進経費(経営基盤強化)に貢献する先進的な取組」に、本学の取組として10月27日に「保護者のための就職ガイダンス」を開催予定。3年生・4年生及び大学院生のご父母の方が対象である。長く厳しい就職活動を乗り切るには、保護者の皆様のサポートが必要となる。講演終了後は就職支援課員による「就職相談会」も実施する。詳細は後日お伝えする予定である。

今回のシンポジウムの目的は、教職協働が今後、風通しの良い「環境を作っていく」よう、全学の教育改革・研究推進などの運営業務を円滑にすすめる相互理解を図ることであった。まず、教育研究推進室からの「科研費とりまとめ業務について」では、科研費の採択から最終報告提出までの事務側の取扱い業務が紹介された。総務課は「大学の説明責任を中心に」とした総務課業務の実績を紹介した。引き続き、事務の各部署から業務の紹介と現在抱えている問題などが報告された。

終了後に回収したアンケートには、「日ごろの業務が事務職員の方々の尽力で支えられていることを痛感した」「事務局の方々の仕事内容が分かり、相互理解が図れたと思う」といった感想が寄せられた。今後も定期的に「教職協働」に関する情報交換の機会を持つことにより、お互いの信頼関係が醸成され、大学全体の組織運営の強化につながることを期待される。

工業技術博物館後援会特別講演会、総会を開催

6月8日(金)、学友会館で工業技術博物館後援会特別講演会、第22回総会、懇親会が開催された。特別講演会では、東芝科学館副館長の河本信雄氏を招き、「東芝創業者田中久重と技術の継承」からくり人形・和時計」の題目で、からくり儀右衛門こと田中久重の人生について話して頂いた。久重は久留米に生まれ、9歳でからくり作品を作り、36歳で大阪に移住して時計・灯籠の製作を始め、52歳で有名な万年時計を完成、その後近代技術も勉強し、75歳で上京し東芝の前身を創業した。多数の図、写真、動画を用いた分かり易い講演で後援会員、学内関係者、学生など、200名超の参加者は大いに感銘を受けた。総会には大川理事長も出席、平成23年度事業・決算報告、平成24年度事業・予算が承認され、また吉田嘉太郎千葉大名教授が新後援会長に就任した。懇親会には柳澤副理事長、波多野学長等学園幹部も出席し、河本氏も交えて懇談に花が咲いていた。

